

安全データシート

1. 製品及び会社情報

- ・製品名 : フィブリノーゲン測定用希釈液
- ・製品コード : 240151
- ・供給者の会社名称 : 株式会社エイアンドティー
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0466-86-8660
- ・問い合わせ先 : 株式会社エイアンドティー カスタマーサポートセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0120-487-030
- ・推奨用途 : **血液凝固検査の希釈液**
- ・使用上の制限 : 所定用途以外に使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHSラベル要素

- 絵表示又はシンボル : 該当なし
- 注意喚起語 : 該当なし
- 危険有害性情報 : 該当なし

- 注意書き **【安全対策】** : 該当なし
- 【応急措置】** : 該当なし
- 【保管】** : 該当なし
- 【廃棄】** : 該当なし

- 国/地域情報 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別 : 混合物
- ・製品名 : フィブリノーゲン測定用希釈液
- ・内容物 : 30mL×2本
- ・成分及び含有量
 - アジ化ナトリウム : 0.09 w/w% 未満
 - ・化学物質を特定できる一般的な番号 : CAS 番号 26628-22-8
 - ・官報公示整理番号 : 化審法化学物質 1-482
 - 塩化ナトリウム : 1.0 w/w% 未満
 - ・化学物質を特定できる一般的な番号 : CAS 番号 7647-14-5
 - ・官報公示整理番号 : 化審法化学物質 1-236

4. 応急措置

- ・吸入した場合 : 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合 : 水と石鹼で洗うこと。
異常があれば医師の診断を受けること。
- ・眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も、洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・予想される急性症状及び遅発性症状
 - 急性症状 : 情報なし
 - 遅発性症状 : 情報なし
- ・最も重要な兆候及び症状 : 情報なし

5. 火災時の措置

- ・適切な消火剤 : 周辺火災に適応した消火剤を使用する。
- ・使ってはならない消火剤 : 情報なし
- ・火災時の特有の危険有害性 : 情報なし
- ・特有の消火方法 : 情報なし
- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 保護具(手袋、眼鏡)を着用し、皮膚、衣類、眼に付着しないようにする。



6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 - : 関係者以外の立入りを禁止する。
 - 作業者は適切な保護具（(8. ばく露防止及び保護措置)の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- ・環境に対する注意事項
 - : 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材
 - : 情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

- ・取扱い
 - 技術的対策
 - : 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
 - 安全取扱い注意事項
 - : 換気の良い場所で取り扱うこと。
 - この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 - 飲み込んで서는ならない。
 - 眼の中に入れてはならない。
 - 取扱い後はよく手を洗うこと。
 - 接触回避
 - : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 - 衛生対策
 - : 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・保管
 - 安全な保管条件
 - : 2-10℃で保存する。
 - 安全な容器包装材料
 - : 包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れる。
 - 他の容器に移し替えない。

8. ばく露防止及び保護措置

- ・許容濃度等
 - : データなし
- ・設備対策
 - : 特別な換気要求事項はない。
- ・保護具
 - 呼吸用保護具
 - : 換気が十分でない場合には、保護マスクを着用すること。
 - 手の保護具
 - : 不透水性保護手袋を着用すること。
 - 眼、顔面の保護具
 - : 適切な保護眼鏡を着用すること。
 - (必要により側板付保護眼鏡又はゴーグル型保護眼鏡を着用する。)
 - 皮膚及び身体の保護具
 - : 適切な長袖保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- ・物理状態
 - : 液体
- ・色
 - : 無色透明
- ・臭い
 - : 無臭
- ・融点／凝固点
 - : データなし
- ・沸点又は初留点及び沸点範囲
 - : データなし
- ・可燃性
 - : データなし
- ・爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
 - : データなし
- ・引火点
 - : データなし
- ・自然発火点
 - : データなし
- ・分解温度
 - : データなし
- ・pH
 - : 7-8
- ・動粘性率
 - : データなし
- ・溶解度
 - : データなし
- ・n-オクタノール／水分配係数(log 値)
 - : データなし
- ・蒸気圧
 - : データなし
- ・密度及び／又は相対密度
 - : データなし
- ・相対ガス密度
 - : データなし
- ・粒子特性
 - : データなし

10. 安定性及び反応性

- ・反応性
 - : データなし
- ・化学的安定性
 - : データなし
- ・危険有害反応可能性
 - : データなし
- ・避けるべき条件
 - : データなし
- ・混触危険物質
 - : データなし
- ・危険有害な分解生成物
 - : データなし

11. 有害性情報

- ・急性毒性

	含有量 (%)	急性毒性 (経口)	急性毒性 (経皮)	急性毒性 (吸入:ガス)	急性毒性 (吸入:蒸気)	急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)
アジ化ナトリウム	0.09 w/w% 未満	区分2 (45 mg/kg)	区分1 (20 mg/kg)	分類対象外	分類できない	分類できない

急性毒性 (経口) : 別表の区分の急性毒性 (経口) の物質を含む。



	これより、混合物の急性毒性（経口）推定値ATEmix > 45,000 mg/kg が算出される。 (JIS 分類による)
急性毒性（経皮）	混合物として急性毒性（経口）区分に該当しない。 : 別表の区分の急性毒性（経皮）の物質を含む。 これより、混合物の急性毒性（経皮）推定値ATEmix > 20,000 mg/kg が算出される。 (JIS 分類による)
急性毒性（ガス）	混合物として急性毒性（経皮）区分に該当しない。 : 分類できない
・皮膚腐食性／刺激性	: 以下の区分の皮膚刺激性の物質を含む。 区分1；アジ化ナトリウム（0.09 w/w% 未満） 混合物として皮膚腐食性／刺激性区分に該当しない。
・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 以下の区分の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性の物質を含む。 区分1；アジ化ナトリウム（0.09 w/w% 未満） 混合物として眼に対する重篤な損傷性／刺激性は区分に該当しない。
・呼吸器感受性又は皮膚感受性	
呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: 分類できない
・生殖細胞変異原性	: 分類できない
・発がん性	: 分類できない
・生殖毒性	: 分類できない
・特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 以下の区分の標的臓器毒性（単回ばく露）の物質を含む。 区分1(心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性)；アジ化ナトリウム（0.09 w/w% 未満） 混合物として標的臓器毒性（単回ばく露）区分に該当しない。
・特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 以下の区分の標的臓器毒性（反復ばく露）の物質を含む。 区分1(中枢神経系、心血管系)、区分2(肺)；アジ化ナトリウム（0.09 w/w% 未満） 混合物として標的臓器毒性（反復ばく露）区分に該当しない。
・誤えん有害性	: 分類できない

1.2. 環境影響情報

・生態毒性	: 当該物質の主な水生環境有害性短期（急性）成分 急性区分1；アジ化ナトリウム（0.09 w/w% 未満）を0.1として計算。 M：毒性乗率 急性3 $(M \times 100 \times \text{急性}1) + (10 \times \text{急性}2) + \text{急性}3$ $= (100 \times 0.1) + 0 + 0 = 10\% < 25\%$ →急性3には区分されない。 混合物は、水生環境有害性区分に該当しない（JIS 分類による）。 当該物質の主な水生環境有害性長期（慢性）成分 慢性区分1；アジ化ナトリウム（0.09 w/w% 未満）0.1として計算。 M：毒性乗率 慢性3 $(M \times 100 \times \text{慢性}1) + (10 \times \text{慢性}2) + \text{慢性}3$ $= (0.1 \times 100) + (0 \times 10) + (0) = 10\% < 25\%$ →慢性3には区分されない。 混合物は、水生環境有害性区分に該当しない（JIS 分類による）。
・残留性・分解性	: データなし
・生体蓄積性	: データなし
・土壌中への移動性	: データなし
・オゾン層への有害性	: 分類できない

1.3. 廃棄上の注意

・残余廃棄物	: 廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って、適切に処理すること。
・化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1.4. 輸送上の注意

・特別の安全対策	: 運搬に際しては内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷が生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
・国内規制がある場合の規制情報	: 該当なし

1.5. 適用法令

・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報	
毒物及び劇物取締法	: 非該当
医薬品医療機器等法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当

16. その他の情報

引用文献

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1) 14906 の化学商品 化学工業日報社 (2006) | 5) RTECS (2004) |
| 2) 国際化学物質安全性カード(ICSC) 日本語版 化学工業日報社 | 6) NTPTR389(1991) |
| 3) DFGOT vol.20 (2003) | 7) ACQUIRE, 2010 |
| 4) ACGIH (2001) | 8) 既存点検, 2000 |

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成していますので、新しい知見によって改訂されることがあります。記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保證するものではありません。